

いのち、くらしを支える 希望ある日本をご一緒に!



札幌市内で能登半島地震救援募金の呼びかけ=1月4日

元日に能登半島地震が発生。被災者救援募金を呼びかけました。

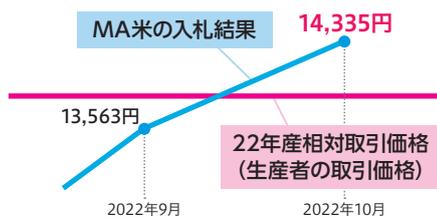
「苦難あるところ日本共産党あり」被災者に寄り添って頑張ります。

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ攻撃はやめよ!!いのちを守れ!!カネにまみれ、一度きりの減税の先に増税を強いる自民党政治を変え、希望ある日本をつくりましょう。

30年
生産者米価より高い輸入米
も続く硬直した政策の見直しを

生産者にコメの生産を減らすよう求めながら、年間77万トンの輸入米(MA米)は固定化しています。紙議員は、生産者が低米価で「米作って飯食えない」と言っているのに、政府は輸入米を高く買っている。しかも、輸入米の累積赤字は5677億円になっているとし、食料・農業・農村基本法を見直すというなら、30年も輸入し続けているMA米は転換が必要だと迫りました。

生産者の取引価格とMA米の入札価格



MA米等に係る累積赤字

1998年~2021年 ▲5602億円

ガザ侵攻許すな、即時停戦を!



伊藤りち子3区国政対策委員長、はたやま和也元衆院議員と=12月15日

ODA沖縄北方特別委員会で、イスラエルによるガザ攻撃の中止と即時停戦を求めるよう政府に迫りました。

裏金疑惑!企業・団体献金禁止法案を提出

自民党の政治資金パーティー券・裏金事件。国会議員団は、パーティー券購入を含めて企業・団体献金を禁じる「企業・団体献金全面禁止法案」を提出しました。



参院に企業・団体献金全面禁止法案を提出=12月5日



汚染水 (ALPS処理水) の 海洋放出は中止を

東京電力は漁業者との約束を反故にし、福島第1原発の汚染水(いわゆる ALPS 処理水)の海洋放出を開始しました。漁師は30年以上も続く海洋放出の中で人生を送らなければなりません。ホタテ貝やナマコなどの生産者や加工業者、地域経済に影響が出ています。紙議員は、海洋放出の中止を求めています。



福島県農民生連官邸前行動=12月19日

酪農の灯を消すな! 緊急支援と政策転換求める

酪農・畜産の危機が続いています。生産者が求めている搾乳牛1頭10万円の支援も含めた緊急支援とともに、生乳の需給調整に国が責任を持つよう求めています。



金谷牧場で搾乳を
経験=12月21日

食料自給率目標は一度も達成していない 達成するための政策なし



千葉のついで講演=9月18日

食料・農業・農村基本法ができて以来、食料自給率目標は一度も達成したことがありません。「コメの消費が減ったなどで自給率を押し下げた」と傍観する農水相。紙議員は、歯止めなき輸入自由化を進めながら、国内生産を増やす政策がないと批判し、「ひとと環境にやさしい農政」への転換を求めました。

紙議員は、歯止めなき輸入自由化を進めながら、国内生産を増やす政策がないと批判し、「ひとと環境にやさしい農政」への転換を求めました。

アイヌの団体や個人が広く参加できる 仕組みを検討すると回答

紙議員は、「アイヌ施策推進法」の見直しについて、アイヌの団体や個人が幅広く参加できる仕組みが必要だと求め、政府は「御指摘の点も検討する」と答えました。



千歳アイヌ協会と懇談=9月21日

ODAの非軍事原則を形骸化させる OSAは中止を

岸田文雄首相は11月、フィリピンに対し非軍事のODAと軍事支援を可能にするOSA(政府安全保障能力強化支援)を同時に約束しました。紙議員は、それではODAとOSAの区別がつかなくなるとし、OSAはやめるよう求めました。

不足した畑地化予算を確保

畑地化予算が不足するなか、紙議員は、畑地化に手をあげた生産者への支援を要求。農水相は「補正予算で必要な財源を確保できるよう調整したい」と答え、2023年度補正予算で750億円が確保されました。



北海道安平町で畑地を視察=9月2日

出漁できない漁師への支援と 北方隣接地域対策の強化を

紙議員は、日口安全操業協定が妥結できず出漁できない漁業者への支援の継続と、老朽化が激しい施設を改修するための財源確保を求めました。



日本共産党北海道委員会の農林水産省要請=10月17日



JCFU全国漁民連と懇談=11月29日



党議員団のマイナンバー問題追及委員会=8月29日